



©Yuki Asada

“生命の木”に秘められた美容の力

マラウイ最大の商業都市、ブランタイヤ。若者の活気あふれるこの街で、今、日本でも注目を集める美容液が作られている。“生命の木”と呼ばれるバオバブの種から採取される「バオバブオイル」だ。長いもので樹齢1000年にもなるバオバブは、サバンナでも自生できる優れた保水能力を持つ。そのため、オイルは抜群の保湿力を誇り、老化防止にも効果があるとされている。

国家プロジェクトとして一村一品運動を進めるマラウイでは、各地域で、意欲的な生産者グループが政府の支援とともに事業を展開している。その一環としてバオバブオイルを手掛けているのが、起業家精神の旺盛な25人のメンバーだ。

2003年からは、日本の専門家や青年海外協力隊も、デザイン、品質管理、市場開拓などの面で協力を開始。その一人、岡田鉄太さんは、「富裕層や海外の方にも受け入れられるように、ボトルのデザインにもこだわっています。現地のメンバーも、当初に比べて梱包作業を丁寧に行うようになりました」と話す。

商品は、現地の土産店やアンテナショップで販売され、生産者も安定した収入を得られるようになってきた。「持続的なビジネスを地域の人たちの手で展開していけるように、これからも協力を続けていきたい」と岡田さん。アフリカの大地が生んだ驚きの美容効果を、ぜひ一度体感してみてください。



機械を使ってバオバブの種からオイルを抽出。ジュース工場でも処分されていた種も有効活用されている

★バオバブオイルを5人にプレゼント！
→詳細は38ページへ

★商品は、オンラインショップ「オーガニックコスメのココロコスメ」(www.cocorocosmeshop.com/)を通じて購入可能

